



HAMAKITANISHI HIGH SCHOOL 2025. 12月号



図書館だより

いよいよ、今年もあと少しとなりましたね。3年生は、これから共通テストや、二次試験という人もいるのでしょ。早く合格を勝ち取った人は、進学先からの課題など勉強も必要となっているとは思いますが、本を読む時間も取って見てはどうでしょう。進学先では図書館が専門書ばかりで…と卒業生から聞いた事があります。本校では新刊小説本や話題の本も自由に読めますので是非手に取って見てください。又これからの受験生は、勉強場所としても是非利用してくださいね。さて、先日第二回選書会を行い、総勢16名の生徒と谷島屋さんに伺いました。小説ばかりではなく、動物に関する本や寺社巡りの本、勿論語学や勉強の本もあります。本は既に配架済ですので、是非どんな本があるか見に来て下さいね。

お薦めの新刊本

今日未明 辻堂ゆめ



皆さんは、情報を入手する手段として何を利用しますか？昔は新聞一択でしたが、近年はSNSが良くも悪くも主流となっています。そこでは短い見出しを使い、簡単な言葉を目にすることで、私たちは事件を終わらせてしまう。この本は、そんな短いセンテンスで書かれた事件の背景も含め、そこに隠されているものを追って、一つ一つの事件を丁寧に描いています。「自宅で血を流した男性死亡 別居の息子を逮捕」など5点の見出しは、どれも見過ごしてしまいそうな身近にありそうなものばかり…。でもその背景にある真実を知ると全く違った事件としてとらえられるのだから不思議です。普通の生活から堕ちるのは、ほんのわずかなことがキッカケであり、誰にでも起こりうることだと思わされます。結末が分かっているのですが、それでも筆者ならではの展開には引きつけられますよ！短編ですので、読書があまり得意でない人にもお薦めです。

いただきます 喜多川泰



高校を卒業後、好きなことをするために稼ぎたい。でも、楽で楽しく働きたいとバイトを転々としていた翔馬。そこで選んだのは、警備員の仕事だったのだが、場所は大学の守衛室で一緒に働くのは老人ばかり。ましてや年齢の変わらない学生の中に入ることに戸惑いを感じ始める。しかし一緒に働く老人たちの過去を知り、大学に通う大学生と交流することで何かが変わり始める。彼の作品は、自己啓発本としても高い評価を得ています。当校の先生方のお薦め本にも彼の作品は多いのが証明していますね。全てにおいて通じるのは、読後それぞれの作品で刺激を受け、何かが変わるのを感じられるという事！さて、この「いただきます」を読んで皆さんが何を感じ、そしてどんな未来を作り上げていくのか楽しみです。筆者の作品はどれも秀逸ですので是非読んで見て下さい！

図書館からのお知らせ



冬休みの貸出本ですが、期限は 12月12日(金)～19日(金)

1人 3冊まで

と致します

尚、冬休み 12月22日(月)～1月5日(月) 図書館は閉館となります

